

令和6年度 大阪府立東大阪支援学校 第2回学校運営協議会議事録

校名	大阪府立東大阪支援学校
校長名	藤野 洋子

開催日時	令和6年12月18日(水) 10時00分～12時00分
開催場所	大阪府立東大阪支援学校 1階 会議室
出席者(委員)	家門 鉄治(会長)、内田 裕子(委員)、大畑 素郎(委員)、加藤 奈津子(委員)、渡久地 綾子(委員)
出席者(学校)	藤野 洋子(校長) 坂原 タ子(事務長) 遠藤 真美(教頭) 前田 優 (教頭) 坂下 嘉彦(首席) 小島 雅武(首席) 大石 尚志(首席) 豊田 直人(首席) 中野 悠(指導養護教諭) 三ノ浦 隆史(小学部主事) 毛利 琴美(中学部主事) 能口 登志子(高等部普通課程 部主事) 久保 茉由子(高等部生活課程 部代表)
傍聴者	保護者1名
協議資料	下記の議題に関する資料及び意見書
備考	

議題等(次第順)
(1) 校長挨拶 (2) 「学校経営計画」の進捗状況について (3) 「学校教育自己診断アンケート」について (4) 「第1回授業アンケート」について (5) 「教科用図書」選定報告 (6) 意見交換 (7) 教頭挨拶
協議内容・承認事項等(校長より内容説明)
(1) 校長挨拶 (2) 「学校経営計画」の進捗状況について ・2学期の取組の様子を写真や動画で見ていただきながら、説明。 防災の取り組み、腰痛予防対策の取り組み、自立活動機器(コスモスイッチの紹介)等 (3) 「学校教育自己診断アンケート」について ・アンケートを実施報告。分析については次回報告。 (4) 「第1回授業アンケート」について ・1学期の報告。2学期の実施分は次回報告。 (5) 「教科用図書」選定報告 ・別紙参照。 (6) 意見交換 ・下欄に掲載 (7) 教頭挨拶

委員からの意見の概要

- ・今年度から地域住民の立場で委員になり、東大阪支援学校の取組を知ることになった。今回も進捗状況の説明を聞き、また、映像で見て、知らなかったことをたくさん知ることができて、よかった。
 - ・「南海トラフ地震に対応できる防災」の取組として、「ソーラーパネル付き蓄電池」を3台購入したとのことだが、値段等が知りたい。
- 実物を見ていただき説明。災害で停電になった場合、人工呼吸器使用の児童生徒も含めて「すべての児童生徒の命を守るため」に必要な物品として、大型備品要求の優先順位1番で提出し、購入が実現。
- ・組織力に感銘をして説明を聞いた。中学校でも「教師と生徒は相似形。教師の学びが子どもの学びに直結するし、教師の心理的安全が子どもの心理的安全につながる。逆も然り。」と話している。東大阪支援には、子どもが安心して学校に来ることができる材料がたくさんある。自校でも参考にしていきたい。働き方改革でも教職員のマインドセットは課題なので、その時代に合わせてブラッシュアップしていけるようにしていきたい。
 - ・リフト活用についてもよい取組なので、ぜひ、進めていただきたい。教職員の腰痛対策だけではなく、児童生徒にとってもリフトを使うことで安心な移乗につながるという話もよくわかった。特に、同性介助の観点でリフトを使えば、異性介助も人権に配慮して可能になるという視点は勉強になった。異性での身体接触は配慮があるので、リフトは有効。
 - ・自立活動・ICTの充実で取り組んでいる「コスモスイッチ」の実践について、具体的に教えてほしい。
- 実物を見ていただき、使い方について実演した。合わせて児童生徒がどのように授業で使用しており、認知・コミュニケーション面等でどのような成長があるのかについて、動画で実践を見ていただきながら説明した。
- ・教職員が児童生徒にどう対応するかをいつも熱心に考えていることがわかる。緊急時の対応や働き方等、別途、連携を取って参考にさせていただいている。
 - ・進捗状況を聞いて、学校がどんどん変わっていく様子があり、先生方が元気で頑張っている様子がわかって、保護者の立場としてはうれしい。ただ、教職員間の「報告・連絡・相談」ができていないのでは?と感じる場面もあると他の保護者の方から聞くこともあり、その点はぜひ、徹底していただけるとありがたい。

次回の会議日程

日時	令和7年2月19日(水) 予定
会場	大阪府立東大阪支援学校 1階 会議室